第24回山形県臨床工学会

市民公開講座

医工連携シンポジウム

～俺のニーズを拾ってくれ!!～

平成30年9月29日(土)15:10～16:10

湯野浜温泉　ホテルテトラリゾート鶴岡　２階　日本海の間

山形県臨床工学技士会は、医工連携プロジェクト委員会を設立し、県内企業とともに医療現場ニーズに対応した製品開発に取り組んできました。現在、医療安全につながる「酸素ボンベアラーム」をＮＥＣエンベデッドプロダクツ株式会社が製品化するなど成果が出始めております。

この度、神戸大学：加藤先生より全国の医工連携の状況を講演いただくとともに、医工連携プロジェクト委員会が厳選したニーズを、提供いただいた臨床工学技士本人から発表していただき、更なる医工連携活動を促進します。

【講演】全国の医工連携推進状況

公益社団法人　日本臨床工学技士会　臨・学・産連携推進委員会　委員長
神戸大学医学部付属病院　医療技術部　臨床工学部門技士長
加藤　博史　氏

【加藤氏プロフィール】
兵庫県立大学大学院 経営研究科（MBA:医療マネジメントコース）ヘルスケアマネジメント修士課程を修了。先端医療振興財団 医療機器等事業化促進プラットフォーム事業アドバイザー、オムロンヘルスケア株式会社コンサルティングアドバイザーなど役職多数。医工連携では主にニーズ抽出と出口戦略に取り組んでいる。電子デバイス大手 村田製作所の自動カフ圧コントローラーの商品化を支援。

【ニーズプレゼン】

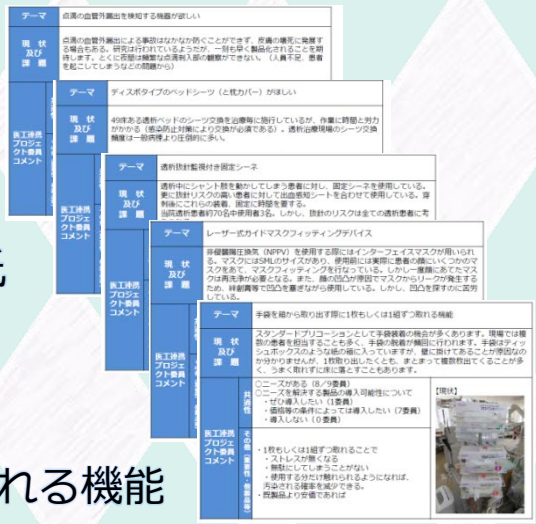
①ディスポタイプのベットシーツ
本間病院　五十嵐　一生　氏

②レーザー式ガイドマスクフィッティングデバイス
山形大学医学部附属病院　石山　智之　氏

③点滴の血管外漏出を検知する機器
山形県立中央病院　栗林　沙帆　氏

④手袋を箱から取り出す際に1枚もしくは1組ずつ取れる機能
山形県立中央病院　栗林　沙帆　氏

⑤透析抜針監視付き固定シーネ
長岡医院　岡崎　正信　氏



主催：山形県臨床工学技士会　共催：山形県次世代医療関連機器研究会（事務局：県工業戦略技術振興課）（予定）